

## 『ソフトウェア技術者のための人事考課』のPCソフト化

※ このご紹介は発売当時のものであり、現在は販売は終了しております。

### — 目 次 —

1. 新聞紹介記事：「アドホクラット 人事評定も入力可能 人事管理ソフト来月発売」  
(『日経産業新聞』 1994年3月23日)
2. システム概要：システムの「分散的」運用方法
3. システム概要：ホームメニューと主な機能
4. システム概要：「社員入力用」システム
5. システム概要：「画面サンプル」(その1)
6. 同 (その2)
7. パンフレット：“三大特色”を發揮する『パソコン人事考課システム』
8. パンフレット：『ソフトウェア技術者のための人事考課 Ver.2』の特徴
9. 『“パソコン人事考課システム”シリーズ』申込書

※ "The Card(アスキー社)"を使った当システムの販売はすでに完了しております。  
Web環境活用のシステム化によるリニューアルが検討されております。

アドホック

# 自己評定も入力可能 人事管理ソフト来月発売

自分の評価はまず自分で  
—。コンピューターソフト会社  
向けの教育事業会社、アドホク

ラット(東京・町田市、広瀬深  
雄社長)は人事管理ソフト「ワ  
ードウエア」技術者のための人事

考課ver.2」を四月一日に発  
売する。人事側の評価データを  
入力するだけでなく、社員側も

自分のパソコンからLAN(構  
内情報通信網)を通じて自己評  
価を加えることができるのが特  
徴だ。

価格は五万八千円で、アスキ  
ーのデータベースソフト「ザ・  
カード」上で稼働する。このシ  
ステムは技術者を経験、資格に  
応じて十二種に分類。社員側は

自分のパソコンからLAN(構  
内情報通信網)を通じて自己評  
価を加えることができるのが特  
徴だ。

自分の等級にあわせて二十二項  
目の質問について、三段階か五  
段階で自己評価する。会社側は、  
上司の評価を追記して最終的な

個人データをまとめる。社員側は  
自分が自分の入力したデータ  
しか検索できない仕組み。会社  
側が評価基準について修正する  
ことは一部可能となっている。

## 当システムの「分散的」運用方法

**1. 社員各自は、同僚の入力データや管理データを「のぞく！」ことはできません！**  
**—— 《「社員入力用」システム》と《「センター管理用」システム》に分離！**

(1) 「社員入力用」システム……各社員自身が入力（所定の査定時における自己評定入力時）の際に使うフロッピー。各社員『一人一枚』を設定します。入力終了後、「センター管理用」システムに持ち込めば、「センター管理用」システムに入力データを自動「転送」できるメニューが組み込まれてあります。

(2) 「センター管理用」システム……上司や人事部門が活用するためのシステムで、ハードディスク（Aドライブ）に格納しておきます。

上記の社員入力データが「転送」された後、メニューに添って管理作業（①面談に基づく補正作業、②検索と訂正作業、③各種帳票印刷など）を進めることができます。

また、さらに所定の範囲内で、評価基準内容を変更し、変更後の基準内容を社員入力用システムに自動コピィする作業メニューも備わっています。

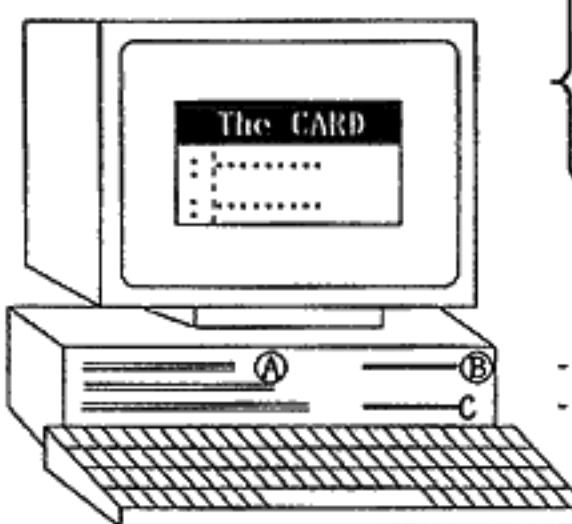
**2. 社員各位は、「自分のデスクのパソコン」を使って「気兼ねなく！」入力作業に集中可！**

(1) 各社員専用に「社員入力用」システムのフロッピーディスクを設定してください。

※ ご購入された「社員入力用」システムの「ディスクコピー」を容認いたします。

(2) ただし、「自分のデスクのパソコン」にも、もちろん“*The CARD 3+*”システムが登載されてあることが必要です。

### 上司・人事部



【「センター管理用」システム格納のパソコン】

### ※ 作業可能メニュー

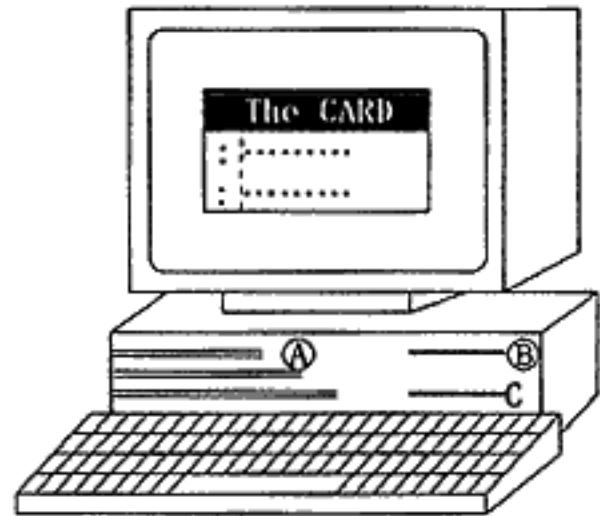
- ① 社員各自の自己評定結果の補正（面談時）
- ② 補正後結果の検索と訂正
- ③ 個人別結果と全員文一覧表などの印刷
- ④ 基準内容文の修正・改訂・作成
- ⑤ 補正後基準内容を社員入力用システムへ自動コピィ

※ 自動「データ転送」作業と修正基準内容の自動コピィ  
この時、若干の『作業手続き』（後述参照）要！

### ▲ 社員

※ 作業可能メニュー

- フロッピへの入力操作
- 入力結果一覧表印刷



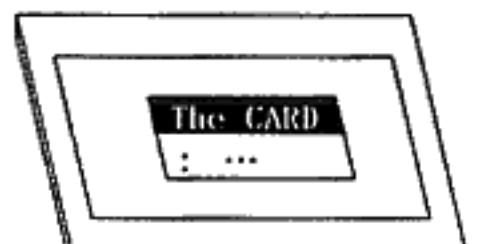
【「社員入力用」システム設定のパソコン A】

### B 社員

- フロッピへの入力操作
- 入力結果一覧表印刷

基所  
準定  
内  
容  
修  
正  
時  
後

基所  
準定  
内  
容  
修  
正  
時  
後



【「社員入力用」システム設定のパソコン B】

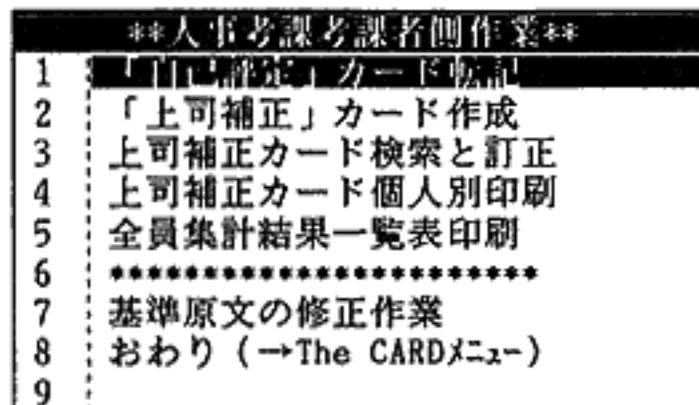
基所  
準定  
内  
容  
修  
正  
時  
後



## ホームメニューと主な機能

## 1. 「センター管理用」システム

93-10-15



【ソフトウェア技術者人事考課システム Ver.2】

【「センター管理用」システムのホームメニュー】

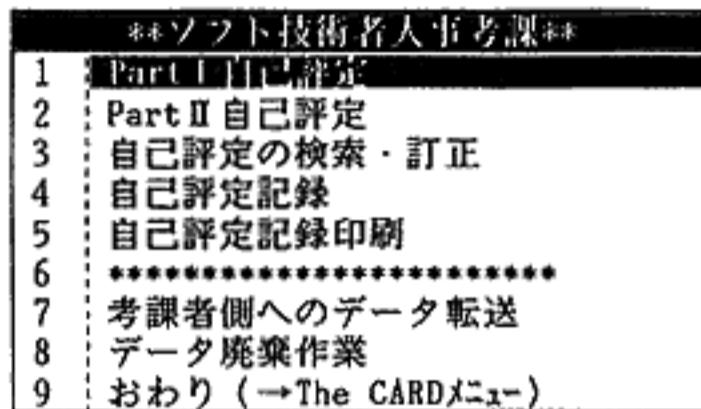
\* ホームメニュー画面の各メニューの内容は下記のとおりです。（サブメニューへの移行などの詳細は、「メニュー構成」の章を参照）

上司などセンター管理側が実施	機能 育成 検証 要領	
	1 「自己評定」カード転記	2 「上司補正」カード作成
	「社員入力用」システムから転送された自己評定データを社員Noを入力して画面に呼び出し、漏れがないことを確認する作業。	以降の基本データとなる個人別の「上司補正」カードを作成すると同時に、社員と面談をおこないながら、社員の自己評定結果に補正を施します。社員No入力による半自動。
	3 上司補正カード検索と訂正	上記で作成・補正された「上司補正」カードを、社員Noの入力によって呼び出す検索や、そのカードに訂正を施すこともできます。
	4 上司補正カード個人別印刷	上記で作成・補正された「上司補正」カードを、社員Noの入力によって呼び出し、個人単位でのカード印刷ができます。
	5 全員集計結果一覧表印刷	面談補正が終了した時点で、全員分の評定結果の一覧表として印刷します。（上記2で補正をせずにとりあえずカードを起こし、補正前の一覧表を印刷する方法も可能です。）
	7 基準原文の修正作業	当システムに格納済みの評価基準(Part I, Part II)内容の自社向け一部修正・改訂が、ワープロ水準の操作で可能。さらに修正後基準内容の「社員入力用」への自動コピィも可。
	8 おわり (→The CARDメニュー)	当システムを終了させ、"The CARD" システムのメニューに戻ります。

\*『2 「上司補正」カード作成』の時、とりあえず「面談補正」なしのカードを作り、「4」で各人毎の「面談補正」=「未」と記されたカードを印刷し、それを使って「面談」を進める方法もおこなえます。その時は、面談補正後、その結果を「3」で訂正入力することになります。

## 2. 「社員入力用」システム

93-10-15



【ソフトウェア技術者人事考課システム Ver.2】

【「社員入力用」システムのホームメニュー】

\* ホームメニュー画面の各メニューの内容は下記のとおりです。（サブメニューへの移行などの詳細は、「メニュー構成」の章を参照）

		機能 育成 構成 要素
社員が実施	1 Part I 自己評定	自己の社員Noと等級を入力することで、等級に見合った難易度の五段階の「Part I」基準内容(SE個別能力)の文面が表示され、五段階評定を自己選択。評定項目数は13項目。
	2 Part II 自己評定	自己の社員Noと等級の入力で、「Part II」基準内容(SE個別能力)の文面が、段階に区分けされ数十個表示。個々の項目に○×△で評定。等級に見合った五段階が自動決定。
	3 自己評定の検索・訂正	上記の「Part I」、「Part II」への自己評定のプロセスで疑惑が残る箇所を再度振り返ったり、訂正したい場合に、社員Noを入力すれば検索・訂正ができます。
	4 自己評定記録	各Part毎、項目毎の自己評定結果の再確認を通し、一覧表を自動作成します。得意、苦手項目の確認や当該年度に関する感想の入力欄も設定しています。
	5 自己評定記録印刷	社員Noの入力で、上記の自己評定記録一覧表がカード形式で自動印刷されます。後日実施される上司との面談に備えて保管しておきます。以上終了後、フロッピィを提出！
上司実施	7 考課者側へのデータ転送	ここからは、「センター管理用」システムが稼動するパソコン上で実施。社員入力の自己評定結果が、「センター管理用」システムに自動データ転送処理されます。
	8 データ廃棄作業	同じく「センター管理用」システムが稼動するパソコン上で実施。「社員入力用」フロッピィの入力データを、プログラムだけを残しながら廃棄処理します。
共	9 おわり (→The CARDメニュー)	当システムを終了させ、「The CARD」システムのメニューに戻ります。

# パソコン人事考課『ソフトウェア技術者のための人事考課 Ver.2』

ACC 標準アドホクラット

画面サンプル①【Part I 自己評定】で、No.1 項目の主旨が説明されています。

【Part I 自己評定】		面入 1行 276 / 3994 行*
No. 1( 101 ) / / 1) 【Part I 自己評定】	社員No.	等級: 評定:
基準 1	評定項目名 「幅広い視野と経営的視点での発想力」 小さなシステムであっても、幅広い領域の多くの要素が関係していると同時に、システムは何らかの経営的目的をめざして開発されます。専門の情報処理知識・技術に加え、視野の広さやビジネスセンスが必要なのです。	
基準 2		
基準 3	【Part I】は、No.13まで 13項目が設定！	「等級」(1~12)を入力すると、それにふさわしい難易度の評定基準内容が下記のように表示されます！
基準 4		
基準 5	このような操作指示コメントが随時表示されるため操作に迷いはなし！	

★ウィンドウはこの画面の評定項目名とその説明です。読み終えたら【RET】キー！

□参照 □ファイル □記・削 □記・登 □記・読 □辞・削 □辞・登 □辞・統  
連付漢

画面サンプル②【Part I 自己評定】の基準文に対し、自己評定を行ったところです。

【Part I 自己評定】		面入 1行 148 / 2059 行*
No. 1( 101 ) / / 1) 【Part I 自己評定】	社員No. 1 等級: 1 評定: 3	
基準 1	日常の勤務姿勢において、モラール【士気】の低さ(やる気のなさ)や常識不足が原因となって、視野が狭くなり、自閉的で独善的な行動に走ることが多かった。	
基準 2	日常の勤務姿勢については、上司・同僚に特別の違和感を与えない程度の、常識的な視野の広がりを身につけた。しかし、幅広い業務知識の吸収についてはいまひとつ努力の跡が見られなかった。	
基準 3	自己の考えに固執せず、上司・同僚(またはユーザー)の助言に積極的に耳を傾け、自己の仕事の環境を広く理解しようとする姿勢が安定してきた。その結果、業務知識の幅も一定広がってきた。	★★★
基準 4	業務に直接関係する知識の吸収はもちろんのこと、周辺視野を広げるため、新聞・雑誌・書籍などを定期購読し、視野と発想力の拡張に努めてきた。その結果、ミーティングや上司との会話の時にも、発想の豊かさが認められるようになった。	
基準 5	自己の担当作業やチームの作業全体の懸案事項に対して、先入観や憶測にとらわれることなく、常に幅広い視野での分析・検討を心掛けてきたため、不測のトラブルを引き起こすことはほとんどなかった。ミーティングにおいては、広い視野にたって議論を運ぶことができるため、実のある結論を導き出すことが多かった。	

□ 基準 1 □ 基準 2 □ 基準 3 □ 基準 4 □ 基準 5 □

← カーソル移動で選択！その結果が表示！ →

この文面の変更も簡単に可能！

画面サンプル③【Part II自己評定】で基準文に対し、自己評定を行っているところです。

【Part II自己評定】										挿入	1行	76/2321行*	
【Part II 自己評定】 ( 106)( )													
段階区分No.6 区分名:「中級システム・エンジニア相当」 社員No. 1 等級: 1													
項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9					
評定	評定	評定	評定	評定	評定	評定	評定	評定					
×	×	×	×	×	×	×	□	□					
項目8										業務開始に必要な諸準備および運用方法について、ユーザ部門の教育を行う。			
										Part II のテクニカル・スキル 基準内容は、各社の業務内容に適した内容に変更して下さい			
《判断の基準》													
【○】: 実務上で可能なことを実証した場合。													
【×】: 実務経験がなく、まったく自信もない場合。													
【△】: 実務経験はあったが自信がない、または実務経験はないが「可能」なことを実証できる場合。													
★読み終えたら【RET】キー！次の「評定」は←→キーで選択、そして所定のキー！													
[参照] [ファイル] [記・削] [記・登] [記・読] [辞・削] [辞・登] [辞・読] [連・漢]													

画面サンプル④自己評定終了後、結果確認と「感想」入力をしているところです。

【自己評定記録】										挿入	1行	76/2321行*			
**** ソフトウェア技術者のための人事考課 ****															
社員No.	1									登録日: 93-12-10					
氏名:	アド・オクラット	等級: 1 等級ランク: 0 直属上司名: A.C.C.													
と考 し課 題側 とシ 同ス 様テ ム画 面は が、 設評 定！補 正用	※ 【Part I】	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10				
		101	102	103	104	105	106	107	108	109	110				
		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
と考 し課 題側 とシ 同ス 様テ ム画 面は が、 設評 定！補 正用	※ 五段階平均:	No.11	No.12	No.13	※下の欄外から←→キーで選択！										
		****	****	****	★ベスト1項目: 「システムアーキテクチャのマネジメント」										
		3.0	3	3	★ワースト1項目: 「広い視野・経営的な発想力」										
印 刷 す る 同 様 ニ 書 式 が 設 カ ード を	年度	*****	*****	*****	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	計
	評定	【Part II】	区分1	101	○	○	○	○	○						5.0
	結果	合計得点:	区分2	102	○	△	×	×	×	×	×	×			1.5
		6.5 = 6.5	区分3	103	×	×	×	×	×	×	×	×			0.0
		得点ランク: 3	区分4	104	×	×	×	×	×	×	×	×			0.0
			区分5	105	×	×	×	×	×	×	×	×			0.0
			区分6	106	×	×	×	×	×	×	×	×			0.0
			区分7	107	×	×	×	×	×	×	×	×			0.0
		※ 【Part III】	五段階:	5									最終評定	4	
		感想: Part II のテクニカル領域はまだまだこれからだと思います。													
★この査定期間中の出来事で特記したい場合入力！【TAB】キーを2回押して終了します。															
[参照] [ファイル] [記・削] [記・登] [記・読] [辞・削] [辞・登] [辞・読]															

# “三大特色”を発揮する『パソコン人事考課システム』

教育・人事システムの ACC 構アドホクラット

特色 1. 「被考課者の自己評定」機能と「考課側の評定補正」機能の分離・両立！

特色 2. 対話型方式での「基準内容変更・改訂」(カスタマイズ) 作業をメニューに設定！

特色 3. フロッピイ受け渡し方式に加えて，“LAN”環境での稼動も可能！

..... ただし、価格は、“コスト圧縮の努力”で ¥58,000 .....

【当システムは、以下のニーズに応えています！】

- ★ 時代要請の「能力主義」構造には、「人事考課」システムが必須！
- ★ 教育効果を望むなら、社員による「自己評定」＝「考課プロセスへの参画」は大前提！
- ★ 「自己評定」方式には、対話型構成・評定判断支援・上司による評定補正などシステム機能に十分な工夫が必要！
- ★ 「自己評定」方式を採用するなら、「管理データの漏洩防止」も重要な課題！
- ★ 当然のことながら、十分吟味された「ひな型としての評定基準内容」が内蔵されてること！
- ★ やはり、最終「評定結果」は、明瞭な「五段階」が望ましい！
- ★ 変化の激しい時代！「評定基準内容の更新」に手間がかからなければならない！
- ★ 評定結果・集計結果をペーパーでも保管できるための「印刷機能」も必要！
- ★ もちろんスピーディな「データ検索機能」が装備されていなければならない！
- ★ 今後のことを見据すれば、“LAN”環境でも稼動するシステムであってほしい！



シリーズ 第1弾

94年4月 発売！

『ソフトウェア技術者のための人事考課 Ver.2』

- ◆ シリーズ 第2弾 『“納得”的能力主義考課』（業種不問、従業員数5～60名規模企業向け）開発中！
- ◆ 「特別版！」（シリーズの手法をベースとした低価格開発！業種不問！）のご用命も承っております！
- ◆ 《目標管理シリーズ》課長職向け人事考課『課長“新・MBO”System』も好評発売中！

# 『ソフトウェア技術者のための人事考課 Ver.2』の特徴

◎ 好評『課長“新MBO”System』考案・作成の 横アドホクラット

## 1. 設計思想の特徴

- (1) 全国の大手ソフトウェア開発会社700社を越えてご購入いただいたペーパー方式の『ソフトウェア技術者のための人事考課』システムの内容に基づいています。「評定基準内容」には定評があります。
- (2) 何よりも、社員による「自己評定」のしやすさに向けた設計の工夫があります！
  - ① 「評定基準」内容自体を、現場サイドの具体的行動や情景で表現することにより判断をしやすくしています。
  - ② 親切な「操作指示コメント」の駆使、「セレクト」キーによる回答選択、カラフルな画面構成など対話型システムとしての配慮を徹底させています。
  - ③ 「社員入力用」フロッピィ（各自1枚）へ入力する運用方法をとるため、社員は自分の机のノート型パソコンなどを使い、時間制約なしで自由な姿勢での「自己評定」ができます。（「社員入力用」システムの内部設計がのぞけないようにできる「暗唱番号」の設定も可能。ただし、出荷時は未設定。）
- (3) 抽象的表現を脱却した「評定基準」内容
  - ① 「理解力」・「忍耐力」といった抽象的な表現を避け、現場サイドの具体的行動や情景で基準内容を表現！
  - ② 評価対象とすべき技術者の能力を、テクニカル・スキル（Part II）だけに限定せず、技術者に対するユーザからの期待内容や、システム技術者として大きく成長するために必須の能力など「インフラ能力」（Part I）を盛り込んで、実践的な「評定基準」が構成されています。（動態評定としてのPart IIIも設定）
- (4) 考課者側にとっても安心で便利な設計
  - ① 「考課者側（管理側）」システムと「社員入力用」システムを分離させているため、社員は自分以外の入力データをのぞくことは完全に不可能であり、管理データの漏洩防止は万全です。
  - ② 「自己評定」方式には、上司による「評定補正」が必要ですが、「考課者側」システムには、被考課者と面談しながら「評定補正」のできるメニューが設定してあります。
  - ③ 「評定基準」内容の変更（自社向けカスタマイズ、改訂など）が一定の範囲で可能となっており、なおかつワープロ操作の水準で実施できる処理メニューが設定。変更後の基準を「社員入力用」フロッピィにフィードバックする処理メニューも設定。
- (5) “「人材育成」ためのインセンティブ！”を志向する《評価・診断“セルフチェック”シリーズ》の設計思想が受け継がれています。※同《シリーズ》の既存実績内容は別紙を参照してください。

## 2. パソコン・システムとしての特徴

- (1) データベース・パッケージ『The CARD3+』に対応する“ディスク版ソフト”です。
 

（『The CARD Ver.5』も問題なし。“LAN”環境での活用が可能です！）

※【PC-9800/FMR/IBM-PS55等向けThe CARD3+ 対応】 ※The CARD3+ は株式会社アスキーの商標です。

※『The CARD3+』システムを立ち上げた環境で、“まるで独自な業務パッケージ！”のように操作できます！

※『The CARD3+』のデータベース機能、カラフルな画面機能が十二分に発揮され、美観を伴った操作画面、データの加工・検索処理への展望が魅力です！
- (2) 操作の煩雑さを避けるべく、メニュー選択に基づく操作手順の自動化を採用。難しい操作はありません！
- (3) 「対話型」方式に基づく、選択肢からの選択入力と、『The CARD3+』内蔵の漢字変換アシスタント（ワープロ）による文章入力。（氏名の入力など一部分のみ）

## 3. ご提供内容

- (1) “パソコン人事考課”システム『ソフトウェア技術者のための人事考課 Ver.2』  
フロッピィ・ディスク 4枚（2枚は バックアップ・ディスク）
- (2) 『操作説明書』小冊子 2冊（合計80ページの丁寧な説明）

## 4. 「値ごろ感」そのまま！の価格特徴

- ¥58,000 【注】当システムを活用するには、前述の『The CARD3+』を必要とします。  
(消費税別)  
(参考： 価格 48,000円 横アドホクラット)

## 5. 発売時期予定

- 1994年4月予定 ☆ 課長職クラスには、既販売《目標管理人事考課》『課長“新MBO”System』をお薦めします！

※ これは過去のご紹介までで、現在この用紙は「有効ではありません！」

樹舎アドホクラット 銀

平成 年 月 日

## 『“パソコン人事考課システム”シリーズ』申込書

このたび、御社開発・販売の『評価・診断セルフチェックシリーズ』に関し、下記のとおり購入申込致します。  
なお、当該希望物件の特質（無形ノウハウ）上、受取後の返品はいっさい行ないません。

【注意】下記の価格には、『The CARD3+』  
(または『The CARD』)の本体価格およ  
び消費税は含まれていません。  
※The CARD3+ はアキ-社の登録商標です。

事業所名称	〒	
所在 地		
申込者	部署・職位名	
	氏 名	㊞

記

○印	購 入 希 望 内 容	価 格(消費税別)
□	<b>I. 『ソフトウェア技術者のための人事考課 Ver.2』</b> “パソコン人事考課システム”(SE, プログラマー向)  【①・②に「レ」印を！】 ① <input type="checkbox"/> PC9800/98NOTEシリーズ(日本電気㈱) <input type="checkbox"/> FMR/FM TOWNSシリーズ(富士通㈱) <input type="checkbox"/> IBMパーソナルシステム/55TM(日本IBM㈱) ② <input type="checkbox"/> 3.5インチ, 2HD <input type="checkbox"/> 5インチ, 2HD	¥58,000  ※コスト圧縮努力で 「低価格」を追求し ています！
□	<b>II. ペーパー方式『ソフトウェア技術者のための人事考課』(付録付)</b> 『制度運用マニュアル(実施・運用上の諸問題と対策)』小冊子添付	¥25,000
□	<b>II. 《目標管理シリーズ》『評価・診断セルフチェックシリーズ No.7』</b> No.7 『課長“新・MBO”System』(課長職層向)  【①・②に「レ」印を！】 ① <input type="checkbox"/> PC9800/98NOTEシリーズ(日本電気㈱) <input type="checkbox"/> FMR/FM TOWNSシリーズ(富士通㈱) <input type="checkbox"/> IBMパーソナルシステム/55TM(日本IBM㈱) ② <input type="checkbox"/> 3.5インチ, 2HD <input type="checkbox"/> 5インチ, 2HD	¥58,000  ※コスト圧縮努力で 「低価格」を追求し ています！
□	<b>III. 《目標管理シリーズ》『評価・診断セルフチェックシリーズ No.6』</b> No.6 『対話型・自主的目標設定支援システム』(一般社員向)  【①・②に「レ」印を！】 ① <input type="checkbox"/> PC9800/98NOTEシリーズ(日本電気㈱) <input type="checkbox"/> FMR/FM TOWNSシリーズ(富士通㈱) <input type="checkbox"/> IBMパーソナルシステム/55TM(日本IBM㈱) ② <input type="checkbox"/> 3.5インチ, 2HD <input type="checkbox"/> 5インチ, 2HD	¥48,000  ※コスト圧縮努力で 「低価格」を追求し ています！

【その他連絡事項】

【備 考】 ① 申 込 先: 〒229 神奈川県相模原市鹿沼台 1-9-15 プロミティふちのベビル 4F  
株式会社 アドホクラット  
研究開発センター 企画部 宛

☎ 0427-57-6500

※ FAXによるお申込も承っております(当用紙をFAXで送信してください)

TEL 0427-57-6505

② お支払い方法: ご希望物件郵送時に、振込先をご案内致しますので着後にご処理くださいよう。